

IR説明会資料

2015年3月期第2四半期決算

株式会社 極 洋 (証券コード: 1301)

<http://www.kyokuyo.co.jp>

食卓に、海のおいしさと、おどろきを



<http://www.seamarche.jp>



目次



2015年3月期 第2四半期の概要

- ・トピックス 3 ～ 6 ページ
- ・決算概要 7 ～ 19 ページ

2015年3月期 業績予想及び施策

- ・業績予想及び下半期施策 21 ～ 24 ページ
- ・事業セグメント別業績予想・施策 25 ～ 28 ページ
- ・投資計画 29 ページ



2015年3月期 第2四半期の概要

□ 家庭用冷凍食品部を新設【4月】

- ▶ 家庭用冷凍食品の市場展開を加速
- ▶ 商品数：累計17品（平成26年9月末現在）



□ Kyokuyo (Thailand) Co.,Ltd. を設立【4月】

- ▶ ASEAN経済共同体による域内貿易の拠点
- ▶ 商製品の輸出入、タイ国内販売と検品及び加工製造
- ▶ 資本金：1億1,200万タイバーツ
- ▶ 売上計画：年商48億円

□ さけ中骨水煮缶詰を自主回収【6月】

- ▶ 缶詰商品の一部から缶蓋に腐食が起きている商品を確認
- ▶ 原因は缶内上部の空間が大きいこと、製造時の加熱殺菌温度が高く、その時間が長いことなどの複合的な要素が重なったことによるものと判明
- ▶ 対象商品：「さけの中骨水煮」EOK缶（プルトップ缶）
- ▶ 賞味期限：2015. 5. 1から2017. 1. 1までのもの



トピックス



□ 2014年 秋の新製品を発表 【7月】

- ▶ 個食、簡単、中食をキーワードに水産のプロならではの全59品を発表
- ▶ 市販用商品24品 (うち21品がシーマルシェブランドで累計57品)
- ▶ 業務用商品35品



□ キョクヨー秋津冷蔵(株)城南島事業所を開設 【8月】

- ▶ 同社京浜地区の庫腹を拡大し、物流部門の事業とサービスを拡充
 - ・所在地：東京都大田区城南島2-6-1
 - ・倉庫面積：6,461㎡
 - ・庫 腹：12,355t



□ K&H Food Impex GmbH を設立 【8月】

- ▶ 当社グループのサプライソースを活用した相乗効果の発揮
- ▶ 欧州における販売力と競争力を高め、欧州市場での販路拡大
 - ・所在地 : オーストリア共和国
 - ・資本金 : 35,000ユーロ
 - ・売上計画 : 年商16億円

□ 日本食糧新聞社『業務用加工食品ヒット賞』を受賞 【9月】

- ▶ 受賞商品 : 「だんどり上手」シリーズ
- ▶ 業務用加工食品市場において最もヒットした商品として給食・惣菜部門での1位受賞



□ クロマグロ完全養殖魚の沖出しに成功【9月】

- ▶ 極洋日配マリン(株)は人工親魚から200万粒を採卵して種苗生産を実施
- ▶ 陸上孵化場から海上の人工種苗用生簀へ完全養殖魚約1万4千尾の沖出しに成功



□ 厚生年金基金代行返上益を特別利益に計上【9月】

- ▶ 当社が加入する極洋厚生年金基金は確定給付企業年金法に基づき、平成26年9月1日付で厚生労働大臣より厚生年金基金代行部分の過去分返上が認可
- ▶ 当事業年度の特別利益として厚生年金基金代行返上益約35億円を計上



第2四半期決算概要

連結損益計算書



(単位:百万円)

	実績		前年同期比		当初予想	当初予想比	
	第2四半期連結累計期間		(増減金額)	(増減比率)	第2四半期 連結累計期間	(増減金額)	(増減比率)
	2014年3月期 (前期)	2015年3月期 (当期)			2015年3月期 (当期)		
売上高	94,101	102,476	8,374	8.9%	98,000	4,476	4.6%
営業利益	1,404	721	△682	△48.6%	1,100	△379	△34.5%
営業外収益	303	236	△66	—	—	—	—
営業外費用	207	271	64	—	—	—	—
経常利益	1,500	686	△813	△54.2%	1,000	△314	△31.4%
特別利益	1,482	3,596	2,114	—	—	—	—
特別損失	23	386	362	—	—	—	—
税金等調整前四半期純利益	2,958	3,897	938	—	—	—	—
四半期純利益	1,880	2,265	385	20.5%	600	1,665	277.5%

- ・当初予想：2014年5月9日に発表した2015年3月期第2四半期業績予想数値
- ・売上高：水産商事、冷凍食品が伸張し、全体で前期比83億円、当初予想比44億円の増収
- ・営業利益：冷凍食品、常温食品、物流サービスで増益となったが、水産商事、鰹鮪が前期を下回り、全体では前期比6億円、当初予想比3億円の減益
- ・特別利益：厚生年金基金代行返上益35億円他　・特別損失：貸倒引当金繰入額3億円他
- ・四半期純利益：前期比3億円、当初予想比16億円の増益

第2四半期決算概要

連結貸借対照表

(単位:百万円)

	2013年9月末	2014年9月末	前年同期比
	資産の部		
流動資産	68,061	74,824	6,763
固定資産	20,935	20,897	△38
資産合計	88,996	95,721	6,725
	負債の部		
流動負債	55,122	53,971	△1,151
固定負債	13,618	19,412	5,794
負債合計	68,740	73,383	4,642
	純資産の部		
純資産合計	20,256	22,338	2,082

主な増減内訳(対前年同期比)

(単位:億円)

流動資産	受取手形及び売掛金 たな卸資産	+33 +25
流動負債	支払手形及び買掛金 短期借入金	+18 △43
固定負債	新株予約権付社債 長期借入金 退職給付に係る負債	+30 +38 △10
純資産合計	利益剰余金	+21



第2四半期決算概要

連結キャッシュ・フロー計算書



	第2四半期連結累計期間		
	2014年3月期(前期) (単位:百万円)	2015年3月期(当期) (単位:百万円)	当期第2四半期(連結累計期間)の主な内訳
営業活動による キャッシュ・フロー	△3,395	△4,772	税金等調整前四半期純利益 +38億円 厚生年金基金代行返上益 △35億円 売上債権の増加 △30億円 たな卸資産の増加 △72億円 仕入債務の増加 +36億円
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,693	△1,529	固定資産の取得 △7億円 貸付金の増加 △9億円
財務活動による キャッシュ・フロー	4,559	6,896	短期借入金の増加 +48億円 コマーシャルペーパーの増加 +30億円
現金及び現金同等物に係 る換算差額	49	△16	
現金及び現金同等物の 増減額	△479	577	
現金及び現金同等物の 期末残高	3,329	3,964	



第 2 四 半 期 決 算 概 要

連 結 経 営 指 標

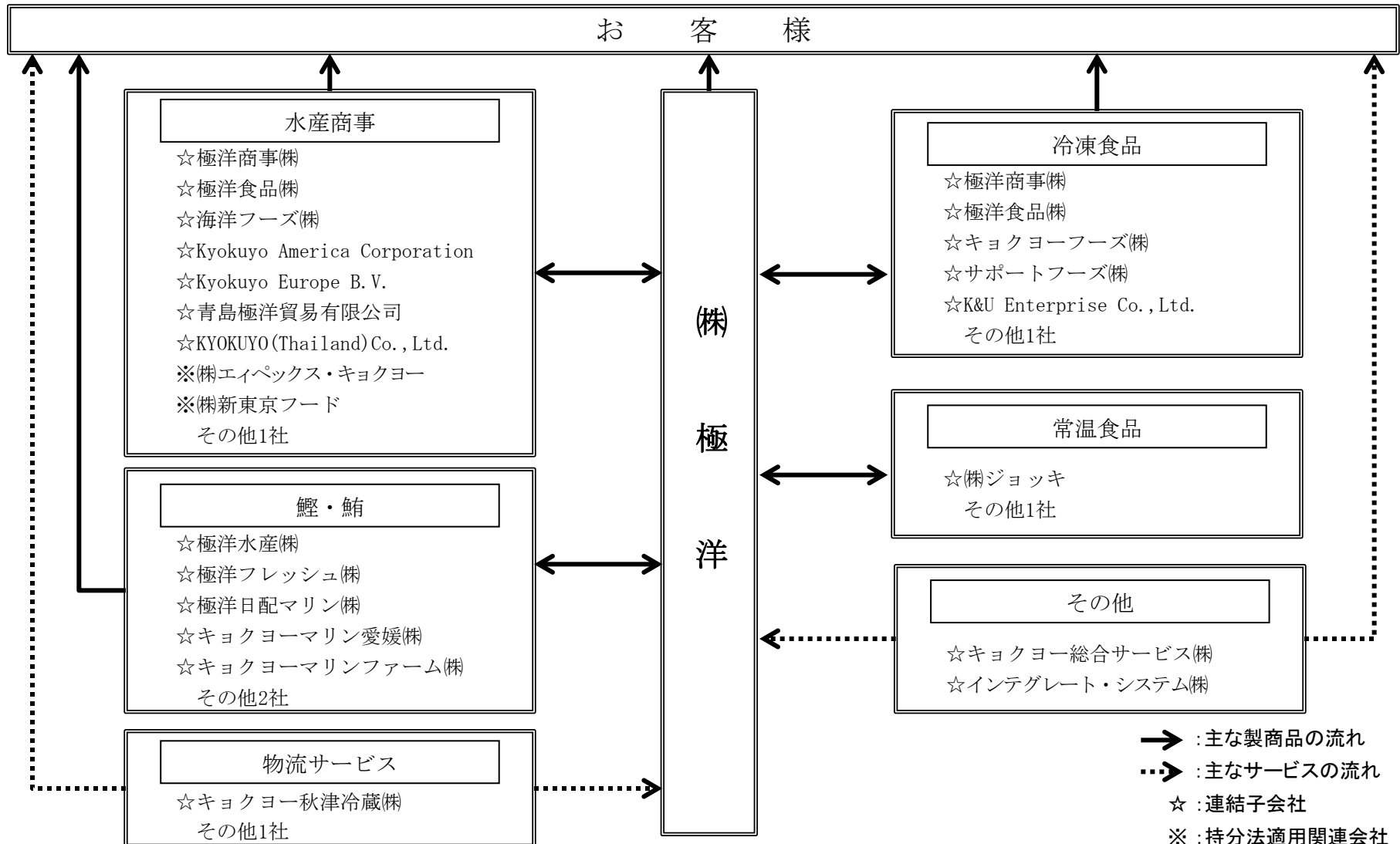


	2013年9月末	2014年9月末	前年同期比
純資産	20,256百万円	22,338百万円	+2,082百万円
自己資本比率	22.5%	22.9%	+0.4ポイント
商製品在庫金額	29,560百万円	29,388百万円	△172百万円
在庫回転日数	57.3日	52.3日	△5.0日
有利子負債	475億円	500億円	+25億円
負債資本倍率(D/Eレシオ)	2.4倍	2.3倍	△0.1ポイント
自己資本利益率(ROE)	9.8%	10.9%	+1.1ポイント
総資産経常利益率(ROA)	1.7%	0.8%	△0.9ポイント
売上高営業利益率	1.5%	0.7%	△0.8ポイント
1株当たり純資産	190円74銭	208円85銭	+18円11銭
1株当たり四半期純利益	17円90銭	21円57銭	+3円67銭



第2四半期決算概要

当社グループの状況(2014年9月末現在)

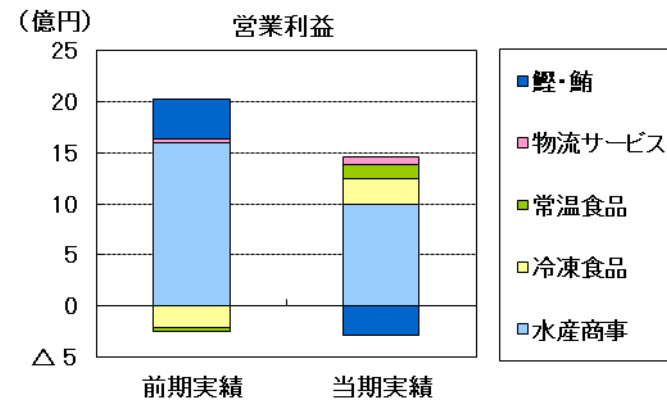
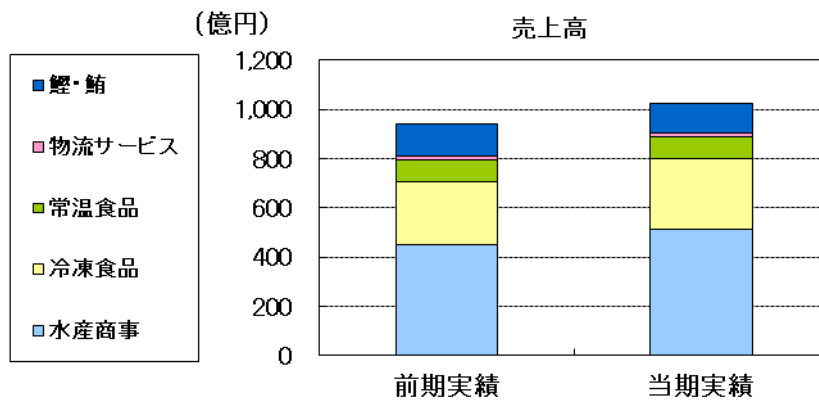


第2四半期決算概要

事業セグメント別売上高・営業利益

(単位:百万円)

	売上高			営業利益		
	第2四半期連結累計期間		前年同期比	第2四半期連結累計期間		前年同期比
	2014年3月期(前期)	2015年3月期(当期)		2014年3月期(前期)	2015年3月期(当期)	
水産商事	45,330	51,507	6,177	1,599	999	△599
冷凍食品	25,521	28,422	2,900	△219	242	461
常温食品	8,652	9,009	356	△33	144	177
物流サービス	1,503	1,604	100	40	71	31
鰹・鮪	13,057	11,874	△1,183	393	△289	△683
その他・本部調整	36	58	22	△376	△446	△70
合計	94,101	102,476	8,374	1,404	721	△682



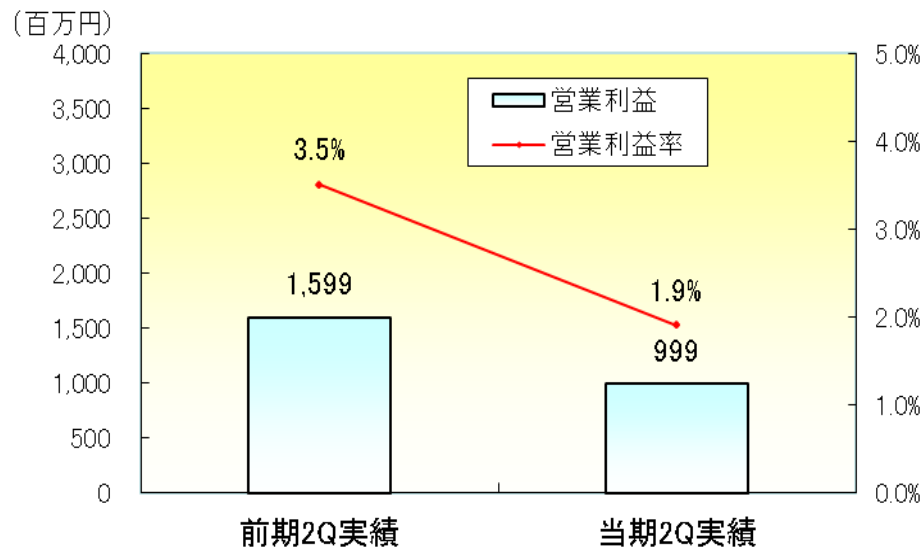
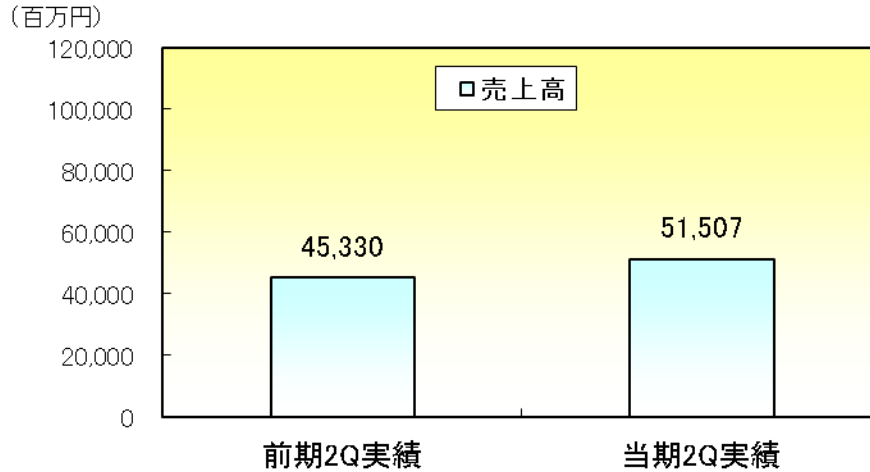


第2四半期決算概要

事業セグメント別概況



1. 水産商事事業…水産物の買付・販売



【第2四半期の状況】

□ 増収

- 水産物市況の上昇
- 鮭鱒、北洋魚、えびの売上増
- 徹底した仕入・在庫管理
- 加工戦略とのシナジー

□ 減益

- 円安進行、ロシアの輸入禁止による市況変動
- 高値継続による利益率の低下
- 原料相場の高止まりで加エコストが上昇

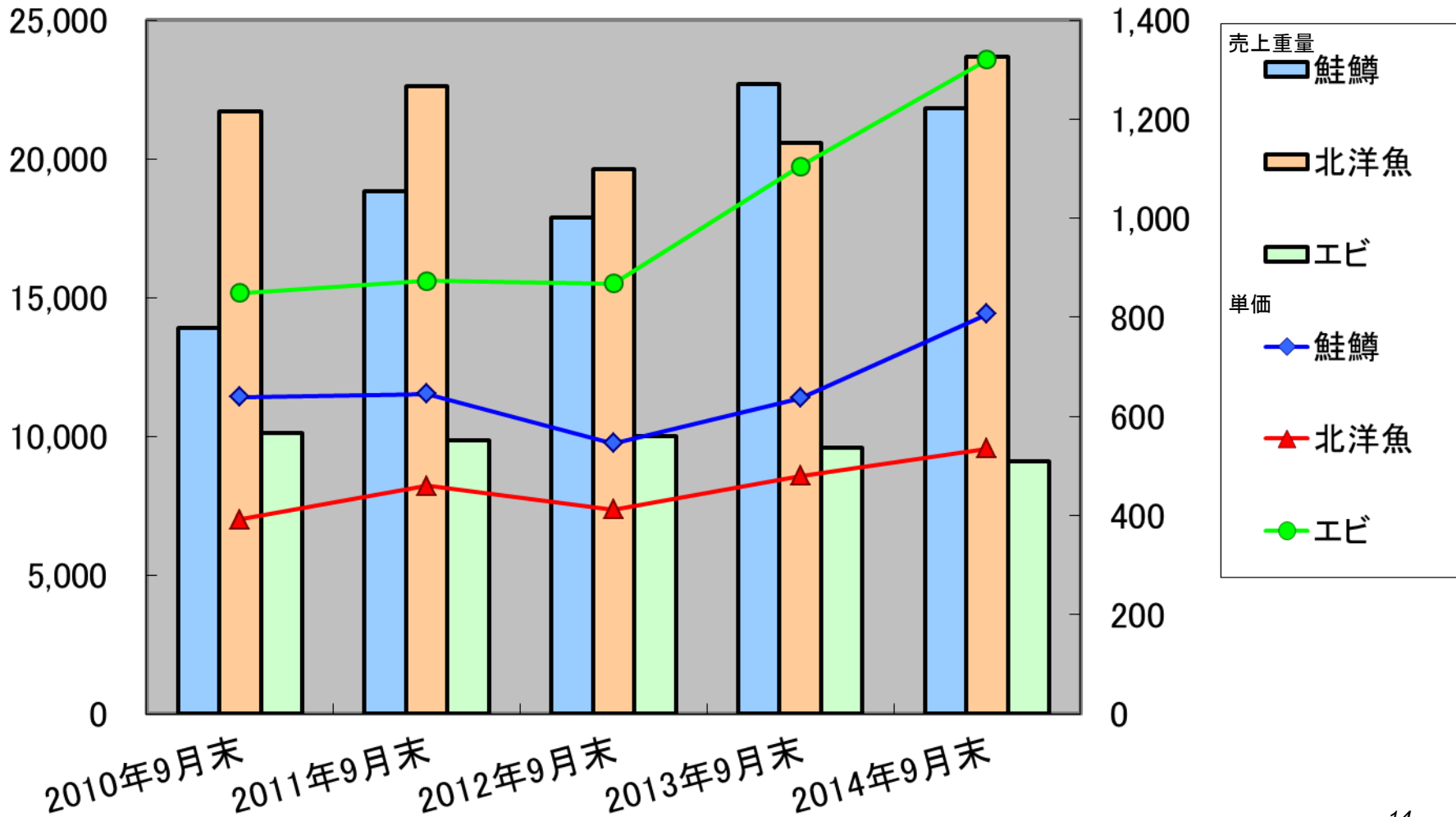
第2四半期決算概要

事業セグメント別概況

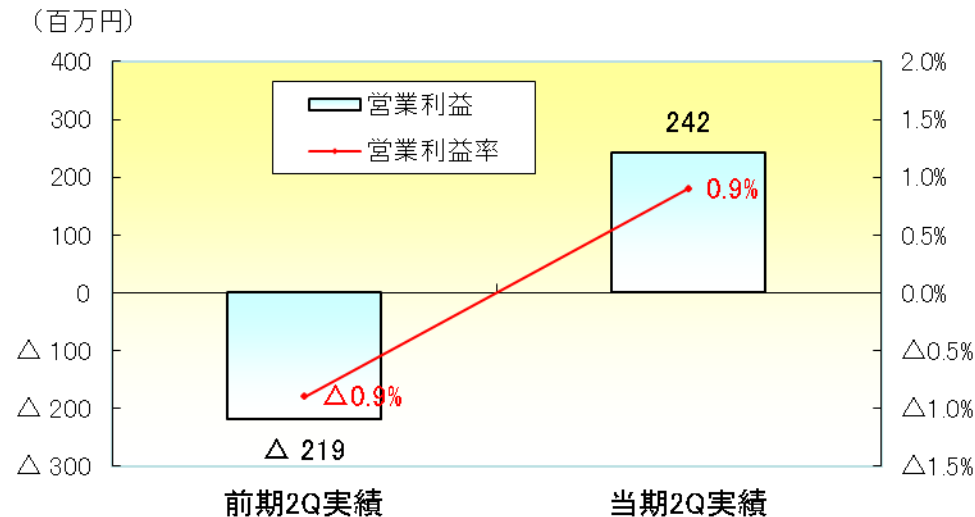
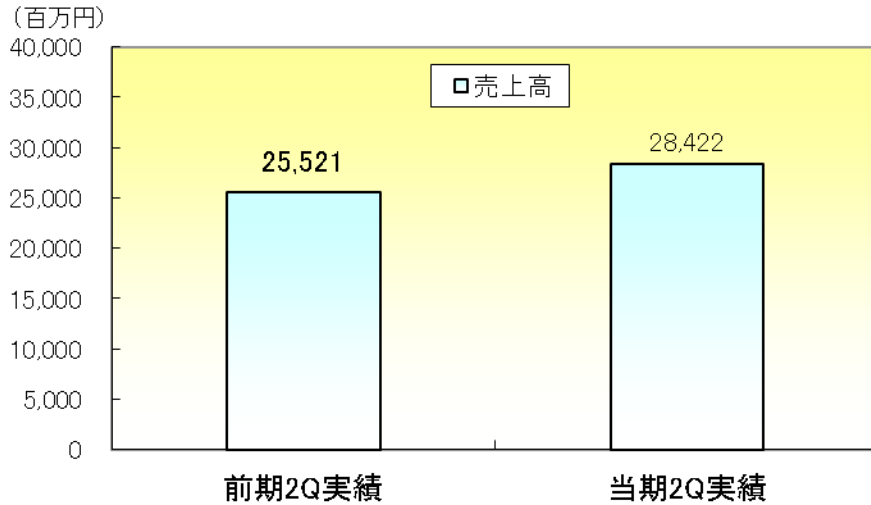
【個別】 水産商事事業…魚種別売上重量・単価推移

(単位:トン)

(単位:円/kg)



2. 冷凍食品事業…水産・調理・家庭用冷凍食品の加工及び販売



【当期の状況】

■増収増益

《水産冷凍食品》

- ▶ 寿司生食用商材を順調に拡販
- ▶ 「だんどり上手」シリーズ製品を中心とした切身、煮魚等の加熱用商材も順調
- ▶ 海外加工工場の収支改善

《調理冷凍食品》

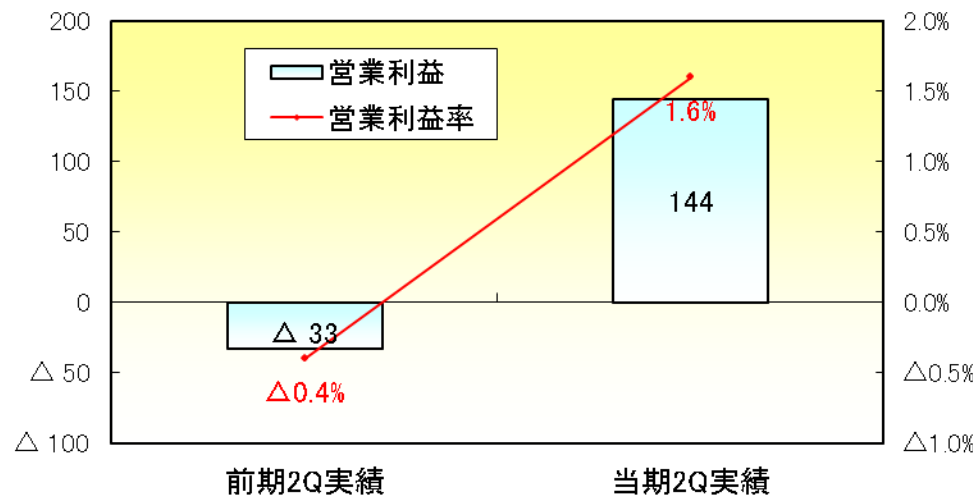
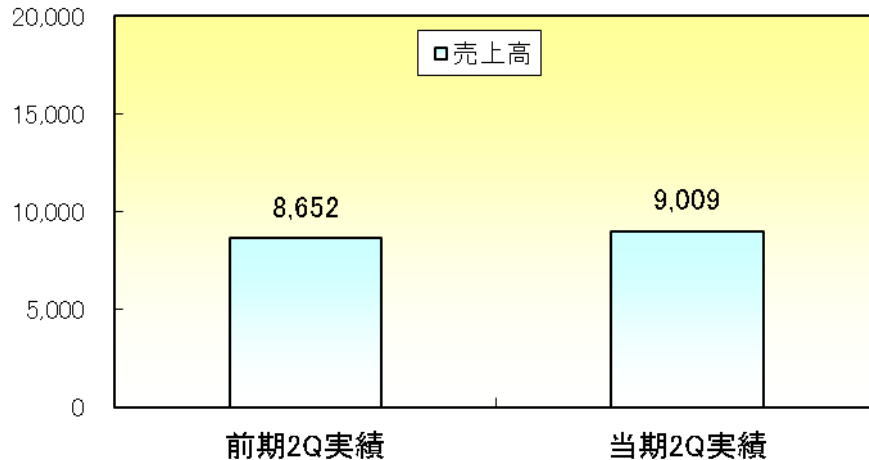
- ▶ エビフリッター販売不振の一方、主力の白身フライが好調に推移
- ▶ カニ風味かまぼこを量販店、外食向けに販促

《家庭用冷凍食品》

- ▶ 大手広域、関東甲信越の有力量販店へ導入が始まり、販売店舗数を拡大中

3. 常温食品事業…缶詰・珍味製品他の加工及び販売

(百万円)

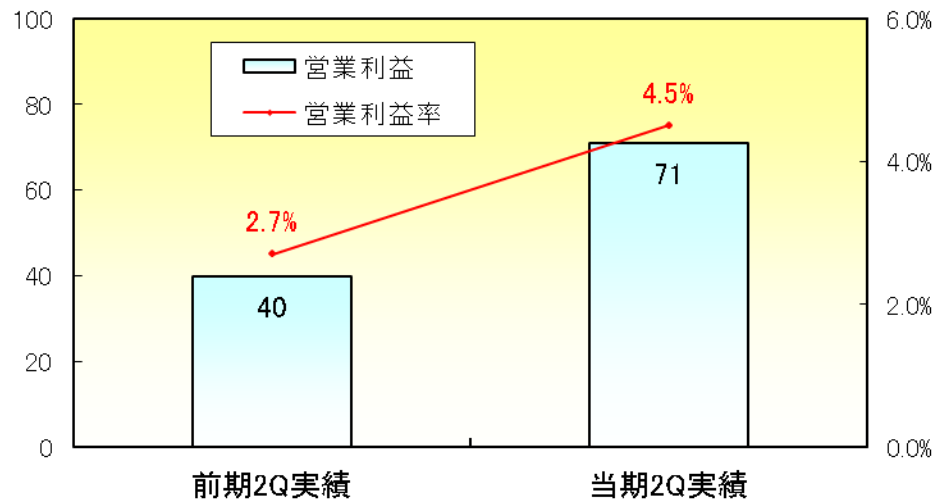
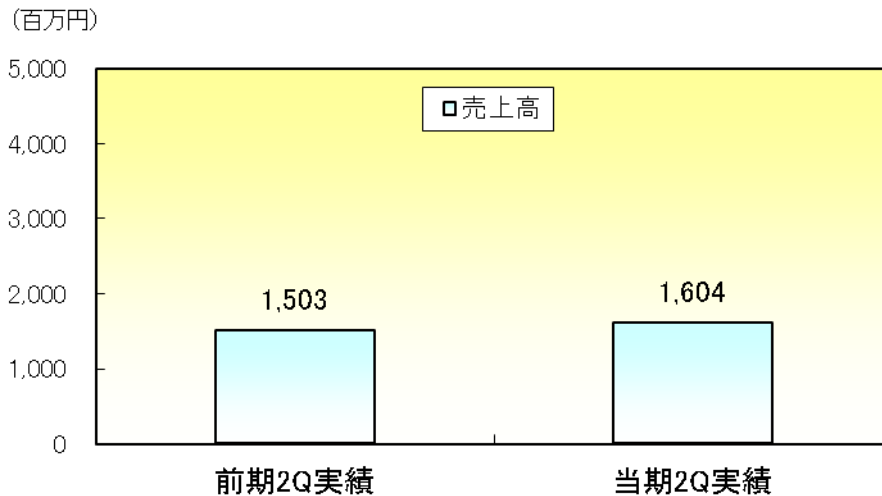


【当期の状況】

□ 増収増益

- ▶ 前期比では増収となったが、自主回収、クレーム処理等により商談が一時停滞
- ▶ 原料価格高騰による価格改定や規格変更等のコストアップ対策を実施
- ▶ CVS向けPB商品や海産珍味類の販売が順調に推移し利益率が向上

4. 物流サービス事業…冷蔵倉庫事業・冷蔵運搬船事業



【当期の状況】

■ 増収増益

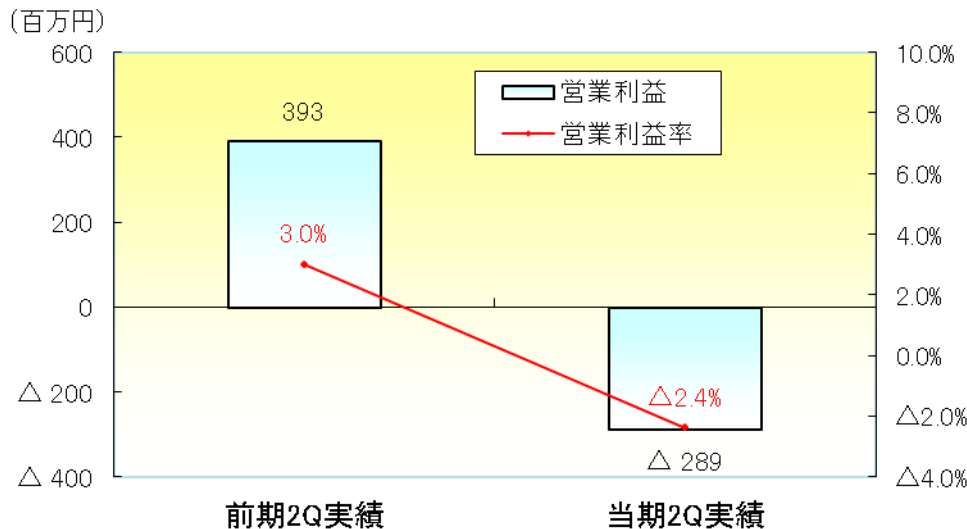
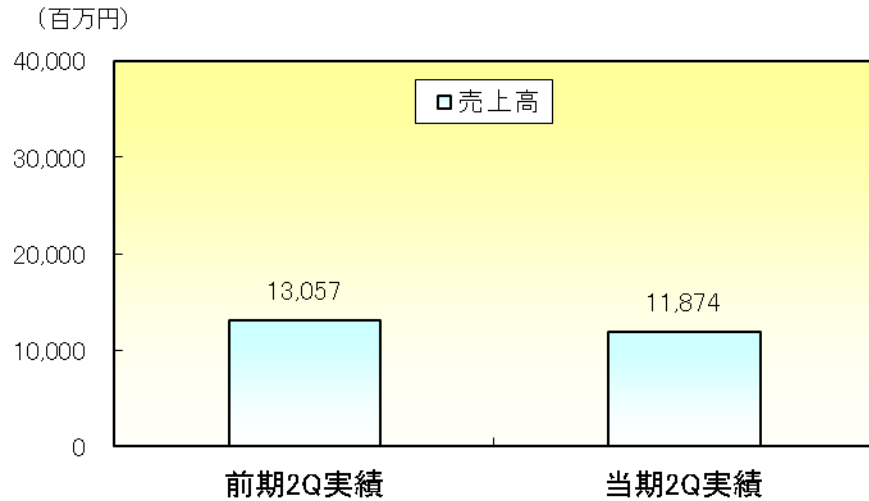
《冷蔵倉庫事業》

- ▶ 新設した城南島事業所が売上増に貢献
- ▶ 再保管貨物の集荷へ取り組み強化
- ▶ 畜産品で新規貨物の取り扱い増
- ▶ 電気料金値上げの影響

《冷蔵運搬船事業》

- ▶ スリム化された船隊の年間契約による効率的な運航で収益が安定

5. 鯉・鮪事業…海外まき網事業・養殖事業・鯉鮪加工及び販売事業



【当期の状況】

□ 減収減益

《海外まき網事業》

	第2四半期累計期間		前年同期比
	前期	当期	
水揚げ重量(千トン)	15	17	+2
水揚げ金額(億円)	29	27	△2
単価(円/kg)	200	159	△41

➤ 魚価の下落や燃油の高騰などにより
減益

《養殖事業》

- 種苗の仕入ルート新規開拓
- 品質の維持・向上

《加工及び販売事業》

- 赤身商品の収益不足
- 回転寿司大手取引先の取扱減

第2四半期決算概要 個別損益計算書

(単位:百万円)

	実績		前年同期比		当初予想	当初予想比	
	第2四半期累計期間				第2四半期 累計期間		
	2014年3月期 (前期)	2015年3月期 (当期)	(増減金額)	(増減比率)	2015年3月期 (当期)	(増減金額)	(増減比率)
売上高	88,161	99,476	11,314	12.8%	93,000	6,476	7.0%
営業利益	1,367	890	△477	△34.9%	1,000	△110	△11.0%
経常利益	1,457	950	△506	△34.8%	1,000	△50	△5.0%
四半期純利益	1,834	2,504	670	36.6%	700	1,804	257.8%

- ・当初予想：2014年5月9日に発表した2015年3月期第2四半期業績予想数値
- ・売上高：水産商事、冷凍食品が伸長し、全体で前期比113億円、当初予想比64億円の増収
- ・営業利益：冷凍食品、常温食品、物流サービスで増益となったが、水産商事、鯉鮪が前期を下回り、全体で前期比4億円、当初予想比で1億円の減益
- ・特別利益：厚生年金基金代行返上益35億円他
- ・特別損失：貸倒引当金繰入額3億円他
- ・四半期純利益：前期比6億円、当初予想比18億円の増益



2015年3月期 業績予想及び下半期施策



2015年3月期 業績予想及び下半期施策



1. 事業を取り巻く環境

経済・社会情勢

- アベノミクスによる日本経済の緩やかな回復基調に陰り
- 日本社会の構造変化による先行き不透明な消費動向
- 慢性的な輸入超過と円安の更なる進行
- ウクライナ情勢等の地政学的要因による影響懸念
- ロシアが欧米からの輸入禁止を発表

水産・食品業界

- 人口減少時代を迎え市場規模が縮小し競争が激化
- 加速する消費者ニーズの変化
- 求められる安心・安全な食品へのこだわり
- 水産物の国内消費減少 VS 海外需要の拡大



2015年3月期 業績予想及び下半期施策



2. 施策

中期経営計画「パワーアップ キョクヨー2015」の

最終年度としての取組み

- 市況や需給バランスを見据えた在庫管理の徹底
 - ▶情報の共有化とグループの連携により環境変化への対応力を強化
- 食品部門の収益力強化
 - ▶原料調達から商品開発、生産、商品力、販売まで収益力の充実
- 家庭用商品（シーマルシェブランドなど）の充実、拡販
 - ▶導入店舗数の拡大と商品力の強化
- 当社グループ基幹工場として新工場建設計画の推進
- 財務体質の強化
 - ▶在庫回転日数の短縮と適正在庫水準の維持
 - ▶キャッシュ・フローの改善



2015年3月期 業績予想及び下半期施策



3. 連結業績予想

(単位:百万円)

		売上高	営業利益	(営業利益率)	経常利益	(経常利益率)	当期(四半期) 純利益	1株当たり 当期(四半期) 純利益(円)
上半期	当期実績	102,476	721	0.7%	686	0.7%	2,265	21.57
	前期実績	94,101	1,404	1.5%	1,500	1.6%	1,880	17.90
	(前年同期比)	8,374	△682	△0.8%	△813	△0.9%	385	3.67
	当初予想	98,000	1,100	1.1%	1,000	1.0%	600	5.71
	(当初予想比)	4,476	△379	△0.4%	△314	△0.3%	1,665	15.86
下半期	当期予想	105,524	1,679	1.6%	2,014	1.9%	1,235	11.75
	前期末実績	108,285	1,511	1.4%	1,485	1.4%	1,087	10.36
	(前期末比)	△2,761	167	0.2%	528	0.5%	147	1.39
	当初予想	107,000	2,600	2.4%	2,700	2.5%	1,700	16.19
	(当初予想比)	△1,476	△921	△0.8%	△686	△0.6%	△465	△4.44
通期	当期予想	208,000	2,400	1.2%	2,700	1.3%	3,500	33.32
	前期末実績	202,387	2,915	1.4%	2,985	1.5%	2,968	28.26
	(前期末比)	5,612	△515	△0.3%	△285	△0.2%	531	5.06
	当初予想	205,000	3,700	1.8%	3,700	1.8%	2,300	21.90
	(当初予想比)	3,000	△1,300	△0.6%	△1,000	△0.5%	1,200	11.42



2015年3月期 業績予想及び下半期施策



4. 個別業績予想

(単位:百万円)

		売上高	営業利益	(営業利益率)	経常利益	(経常利益率)	当期(四半期) 純利益	1株当たり 当期(四半期) 純利益(円)
上半期	当期実績	99,476	890	0.9%	950	1.0%	2,504	23.85
	前期実績	88,161	1,367	1.6%	1,457	1.7%	1,834	17.46
	(前年同期比)	11,314	△477	△0.7%	△506	△0.7%	670	6.39
	当初予想	93,000	1,000	1.1%	1,000	1.1%	700	6.66
	(当初予想比)	6,476	△110	△0.2%	△50	△0.1%	1,804	17.19
下半期	当期予想	100,524	1,410	1.4%	1,350	1.3%	796	7.57
	前期末実績	103,865	1,104	1.1%	1,089	1.0%	△27	△0.26
	(前期末比)	△3,341	305	0.3%	260	0.3%	823	7.83
	当初予想	100,000	1,700	1.7%	1,600	1.6%	900	8.57
	(当初予想比)	524	△290	△0.3%	△250	△0.3%	△104	△1.00
通 期	当期予想	200,000	2,300	1.2%	2,300	1.2%	3,300	31.42
	前期末実績	192,026	2,471	1.3%	2,546	1.3%	1,806	17.20
	(前期末比)	7,973	△171	△0.1%	△246	△0.2%	1,493	14.22
	当初予想	193,000	2,700	1.4%	2,600	1.3%	1,600	15.23
	(当初予想比)	7,000	△400	△0.2%	△300	△0.2%	1,700	16.19

5. 事業セグメント別連結売上高・営業利益 予想

(単位:百万円)

	売上高							営業利益						
	上半期		下半期		通 期			上半期		下半期		通 期		
	当期実績	前期実績	修正予想	前期実績	修正予想	前期実績	当初予想	当期実績	前期実績	修正予想	前期実績	修正予想	前期実績	当初予想
水産商事	51,507	45,330	49,493	55,108	101,000	100,438	95,000	999	1,599	951	1,447	1,950	3,046	1,900
冷凍食品	28,422	25,521	30,578	30,549	59,000	56,071	59,000	242	△219	228	346	470	127	750
常温食品	9,009	8,652	8,991	8,594	18,000	17,247	18,000	144	△33	126	79	270	46	400
物流サービス	1,604	1,503	1,396	1,527	3,000	3,031	3,000	71	40	159	△13	230	26	250
鯉・鮪	11,874	13,057	15,126	12,468	27,000	25,525	30,000	△289	393	409	188	120	582	950
その他	58	36	△58	36		72		△446	△376	△194	△537	△640	△914	△550
合 計	102,476	94,101	105,524	108,285	208,000	202,387	205,000	721	1,404	1,679	1,511	2,400	2,915	3,700

6. 事業セグメント別施策

【水産商事セグメント】

- 安心・安全な商品の安定供給
- 付加価値商品の開発と積極的な販売
- 在庫管理の徹底と情報の共有化
- 市況動向の変化への適切な対応

【冷凍食品セグメント】

- 直系工場製品の売り上げ拡大
- 寿司種・生食用商品の提案力強化
- 商品開発とコスト競争力の強化
- 市販商品の拡販とシーマルシェブランドのPR推進

【常温食品セグメント】

- シーマルシェ商品などの高付加価値商品の市場導入
- 品質管理の徹底と商品力の強化
- ツナ缶、サバ缶等主力商品の安定供給と価格の適正化推進
- PB商品の有力取引先との取り組み強化

【鰹・鮪セグメント】

- 鮪赤身加工販売の利益体制確立
- 鮪脂物の販路拡大と在庫管理の徹底
- 漁撈・養殖・加工・販売のシナジー効果による事業拡大
- 鮪養殖3社の協業促進と完全養殖出荷体制の確立

【物流サービスセグメント】

- 保管・配送のロジスティック機能の拡大と充実
- スリム化した冷蔵運搬船事業による安定利益体制の構築
- 新設した城南島事業所の安定稼働



2015年3月期 業績予想及び下半期施策



投資計画

		通期合計
極洋	生産設備 IT関連 その他	13億円 3億円 1億円
	計	17億円
関係会社	生産設備 漁撈・養殖設備 その他	9億円 4億円 2億円
	計	15億円
合計		32億円



本資料は、2014年9月末までの業績及び今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的として作成しており、必ずしも投資をお勧めするものではありません。

本資料に含まれる業績予想及び将来の予測は、現時点で入手される情報に基づくものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

したがって、実際の業績は、様々な要因により、これらの予想と異なることがありますのでご承知おきください。

当資料に対するお問い合わせ窓口

株式会社 極 洋 企画部 電話03-5545-0703

本資料は株式会社極洋が作成したものであり、内容に関する一切の権利は当社に帰属します。複写及び無断転載はご遠慮ください。